令和3年度　志教育全体計画

宮城県小牛田農林高等学校

校　　訓

自律・進取・至誠

本校の教育目標

宮城県教育員会基本方針に基づき，生徒一人ひとりの能力や適性に応じた総合的な教育を行い，すすんで情操を培い，科学的な思考を究め，豊かな人間性と社会の変化に主体的に対応できる能力と態度を養い，健全な社会の建設のために創造的に貢献できる，心身ともに健康でたくましい人間を育成する。

生徒の実態，教師の願い

本校は創立133年の伝統校であり，各界で活躍する卒業生も多く，地域や社会から大きな期待を寄せられている。生徒は明るく素直で，部活動や農業クラブ等の活動も活発である。本校で学ぶことに誇りを持ち，自己を見つめ，自己を磨き，高校での3年間で心身ともに大きな成長を遂げてほしい。

保護者や地域の願い

・将来は地域産業の担い手となって社会に貢献してほしい。
・健全な社会の建設のために創造的に貢献できる人間に成長してほしい。

「志教育」の目標

1 自己理解を深め，豊かな情操や人間性を養う。
2 将来，地域や社会の一員として，その中核を担う人材の育成を目指す。
3 地域や学校の伝統を受け継ぎ，それを守り発展させようとする態度を育む。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
高校入学とともに始まる新しい環境の中で，級友や部活動の仲間，教員との積極的なコミュニケーションを通して，高校での学習や集団生活への適応を図る。これまでとは違って，人間関係がより広範囲になり，いろいろな意見や考え方を持った人々と関わることによって，視野を広げ，豊かな人間性を養う。	進路情報を活用し，上級学校や職業に対する知識を深める。また，上級学校訪問や職場体験，インターンシップなどの体験学習を通して，自分の適性を見極め，将来への展望を開き，進路意識の高揚を図る。進路目標の実現のために必要な学習習慣や生活習慣の確立に努める。	クラス，委員会，部活動等で自分の役割を理解し，責任を持って遂行する。地域ボランティアやマナーアップ運動等の活動を積極的に行い，集団や社会の一員としての自覚を促す。職場体験，社会人講話等の機会を通じ，望ましい職業観を身につけ，自分がどのような形で社会に貢献できるかを考えさせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	各教科の基礎的・基本的な知識や技術を身につけさせるとともに日々変化する社会に対し，望ましい自分の在り方・生き方について考えさせる。
道徳	①基本的な生活習慣を確立し，節度を守り節制に心掛け，心身の調和ある生活の実現に努める。②他者を尊重し，感謝と思いやりを持って接する。③生命の尊さを深く理解し，かけがえのない生命を尊重する。④集団の意義について理解し，役割と責任を持ち，他者との協力関係の向上に努める。⑤キャリア教育を推進し，望ましい職業観や勤労観を育成する。
総合的な学習の時間	職場訪問やインターンシップを通して，自らの課題を見つけ，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や態度を養うとともに，将来の職業について考えさせる。
特別活動	生徒会の一員として生徒会活動や学校行事，部活動に積極的に参加する。その中で共に学ぶことの大切さや，成し遂げた喜びを実感し，問題解決に取り組み，自己実現を図る。
その他	マナーアップ運動を通じてあいさつができ，身だしなみを整える態度を育成する。交通安全マナーアップ運動を通じて，生命を尊重する社会人としての意識を持たせる。

各学年の取組内容

1年	①新入生オリエンテーション 校訓，校歌，校則，学校行事，学習内容， 進路ガイダンス，マナーアップ講習 ②職場体験及び社会人講話 校外体験学習，現場見学等 ③ライフプランの作成　④進路LHR開催 ⑤挨拶の励行　⑥服装・頭髪指導　⑦清掃活動の重視 ⑧キャリアパスポートの作成
2年	①進路オリエンテーション 2学年のスケジュールの説明 ②進路LHR 分野別ガイダンス ③大学出前授業　④社会人講話 ⑤職場体験及び進路希望先の事前見学 学校説明会，企業見学，職場実習，現場実習等 ⑥挨拶の励行　⑦服装・頭髪指導　⑧清掃活動の重視 ⑨キャリアパスポートの作成
3年	①進路オリエンテーション 進路別のスケジュールの説明 ②進路別講話 生徒対象および保護者対象 ③三者面談による進路希望の確認 ④面接指導および模擬面接 ⑤進路希望先の事前見学 オープンキャンパス，職場見学 ⑥最終進路希望先の提出と受験準備　⑦挨拶の励行 ⑧服装・頭髪指導　⑨清掃活動の重視 ⑩キャリアパスポートの作成

家庭との連携

PTA活動や学校評価，授業公開などの機会を通じ，また学年だよりや生徒部だより，メール配信等の媒体を活用し，情報交換を密にするとともに，生徒の基本的生活習慣と学習習慣の確立を図る。

地域･企業との協働

地域ボランティアやインターンシップ・校外体験学習などの体験活動，そして企業技術者による最先端技術の実践的指導・地域の社会人による講話などにより，望ましい職業観・勤労観の育成を図る。